

活動内容：国際学会での発表

国際学会での発表の経験を通じてグローバルを考える

江又 祐紀（博士前期課程2年）

渡航先：フィリピン・マニラ

ISSAAS International Scientific Congress and
General Meeting 2023 (2023/11/8-11)

本学会は東南アジア諸国の農業に関連した自然科学から社会科学までの幅広い専門分野を取り扱っており、農学関連の様々な専門分野に触れる絶好の機会となりました。

昨年度にインドネシアで開催された本学会では、ポスター発表を選びましたが、今回は口頭発表を選び、挑戦しました。

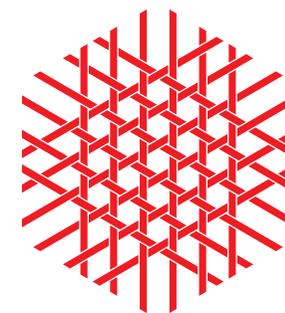
口頭発表では限られた時間の中で、発表と質疑応答をすることとなりますが、私の発表に対しても色々な国の研究者から、質問や意見が寄せられました。また、発表が終わってからも会場の外で声をかけられることもあり、発表内容に対して高い関心を持ってもらえたことを実感しました。

色々な方々とのやりとりを通じて、研究課題に対する方向性や



結果の捉え方が研究者個々に特徴があり、それらは国や民族の違いに基づく、文化の違いが影響するのでは？と考えました。多様な意見や考え方を尊重して、自分なりに咀嚼し、自分の思考の糧とすることが大切であると改めて気づくことができた。

私は来春から国内食品メーカーに勤務します。海外進出に注力する勤務先において、グローバル人材とは何かを、今回の学会出席を通して体験したことを将来に活用したいと思います。



東京農業大学
農芸化学科